



SFORZATO DSP-Dorado

ユーザーマニュアル

Ver. 07.05.18

同梱品

以下のものが入っていることを御確認ください。

- 1) DSP-Dorado 本体
- 2) DSP-Dorado 電源部
- 3) 本体と電源をつなぐケーブル 2本
- 4) AC ケーブル
- 5) スパイク受け
- 6) ユーザーマニュアル、安全のしおり、保証書

目次

1. 注意
2. 接続方法
3. PC へのソフトウェアのインストール
4. iPhone / iPod へのソフトウェアのインストール
5. 操作方法
6. クロックについて
7. フロント・スイッチについて
8. コンフィギュレーションについて
9. ソフトアップデートの方法について
10. ユーザー登録について
11. 更新履歴

1. 注意

本体と電源部の接続ケーブルを接続するとき、またははずすときは、

必ず電源プラグを抜いて行ってください。万が一、電源スイッチが入

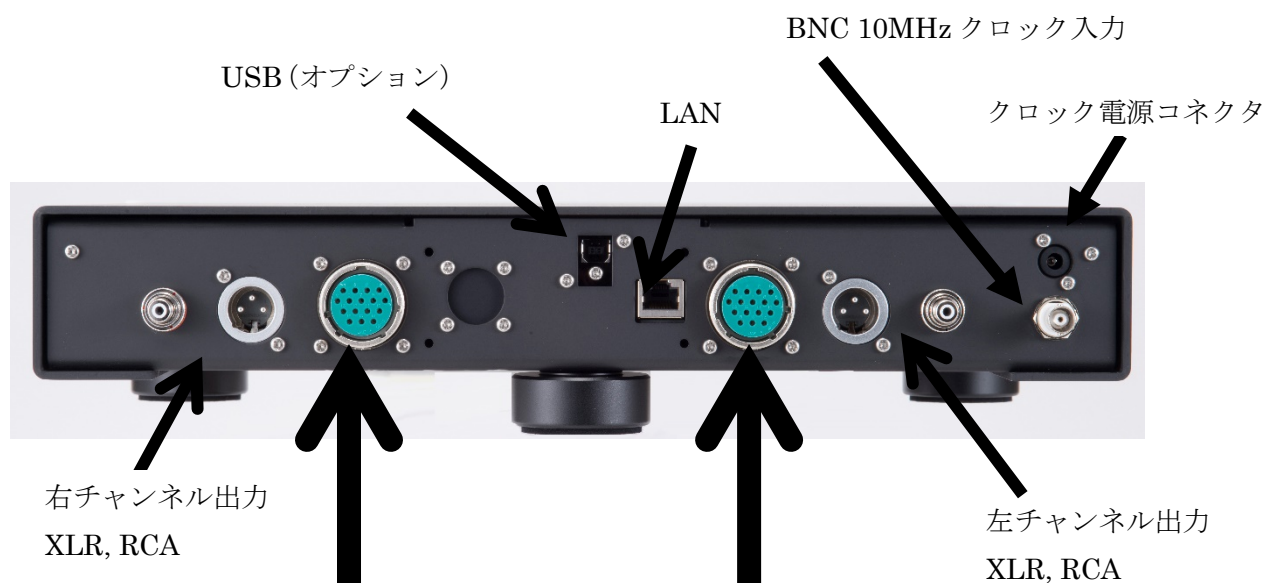
った状態で接続、または外した場合、本体が**破損**します。

2. 接続方法

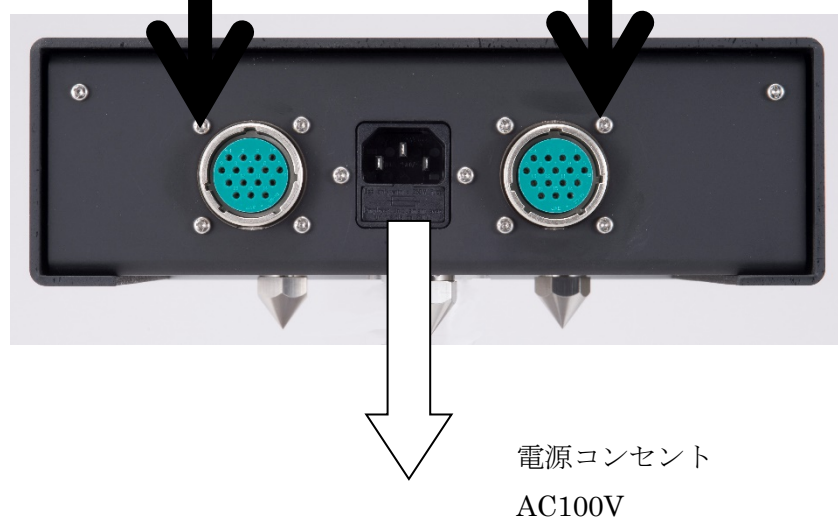
1) DSP-Dorado の接続

- ① まず、DSP-Dorado 電源部の電源ケーブルが抜かれていることを確認してください。また、電源部の電源スイッチがオフになっていることを確認してください。電源スイッチは電源部底面、フロントパネル側中央付近にあります
- ② DSP-Dorado 本体と電源部を 2 本の専用ケーブルで接続します。根元までしっかり差し込んでから、リング状のねじでしっかり固定してください。コネクタの溝を合わせて、まっすぐに押し込みながらネジを回してください。接続が不十分だと動作不良や最悪本体の故障につながります。
- ③ DSP-Dorado 本体と外部クロックユニットを接続します。添付の外部クロックユニットの DC ケーブルを Dorado 本体のクロック電源コネクタに差し込んでください。根元までしっかり押し込んでください。その後クロックユニットを本体の BNC コネクタに接続してください。
- ④ DSP-Dorado とプリアンプ（プリメインアンプ）を接続します。接続には、バランスケーブルを使う方法、RCA ケーブルを使う方法の 2 通りが選べます。両方同時につないでも故障はしませんが、音質上お奨めできません。バランス、RCA どちらか片方をお使いください。詳しい接続方法はアンプのマニュアルを参照ください。
- ⑤ DSP-Dorado 本体背面の LAN 接続端子に LAN ケーブルを接続し、ご家庭の LAN ネットワークに DSP-Dorado を接続してください。NAS に DELA、fidata をお使いの場合は NAS と直接接続可能です。詳しくは NAS のマニュアルをご参照ください。
- ⑥ DSP-Dorado の電源部に電源コードを接続し、コンセントに接続してください。
- ⑦ 電源スイッチを ON する時は、アンプの電源を OFF にするかセレクタを切り替えて DSP-Dorado のスイッチノイズでスピーカがダメージをうけないよう、十分ご注意ください。
- ⑧ DSP-Dorado の電源を入れてください。クロックの抜き差しはかならず DSP-Dorado の電源を落とした状態で行ってください。電源を入れたまま行くと大きなノイズが出る場合があります。

DSP-Dorado 本体



DSP-Dorado 電源部



電源スイッチは 電源部の底面フロント側中央部にあります。

3. ソフトウェアのインストール

DSP-Dorado をお使いになるために、パソコン(以降 PC と表記します)にいくつかのソフトウェアが必要になります。

- 1) NAS のユーティリティソフト
- 2) リッピングソフト
- 3) その他

1) NAS のユーティリティソフト

SFORZATO は NAS に DELA、または fidata を推奨します。他社の NAS では動作に問題がでる場合があります、動作保証対象外です。

それぞれ、専用のユーティリティソフトが各社のサイトからダウンロードできます。

Buffalo: NasNavigator2

fidata: LAN ディスクコネクト (windows) Magical Finder (Mac, iOS, Android)

これを PC にインストールしてください。インストール手順、使用方法はそれぞれ NAS のマニュアルをご覧ください。

2) リッピングソフト

DSP-Dorado で CD を再生するためには、あらかじめ CD のデータを PC で読み出し NAS に保存する必要があります。CD のデータを PC で読み出すことをリッピングといい、このためのソフトがリッピングソフトです。SFORZATO 推奨のリッピングソフトには以下の 2 つがあります。

Exact Audio Copy (無料)

dBpoweramp (有料)

リッピングソフトのインストール方法、使い方は別途ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

3) その他のソフト

PC でプレイリスト (再生する曲の順番を指定するリスト) を作りたい場合、リッピングした CD のデータのアルバム名、作曲者名などを編集したい場合には、以下のソフトをインストールすると便利です。(こちらのソフトはなくても DSP-Dorado をお使い頂けます)

MediaMonkey (無料)

<http://www.mediamonkey.com/download/>

インストール方法、使用方法は別途ソフトウェアのマニュアルを御参照ください。

MediaMonkey は DSD には対応していません。DSD データ (.dsf) のアルバム名、作曲者名などを編集したい場合には、**Tag & Rename (有料、お試し期間あり)**

<http://www.softpointer.com/tr.htm>

が使えます。また、dBpoweramp でも可能です。

4. iPhone / iPod へのソフトウェアのインストール

iPhone または iPod を使って、DSP-Dorado をリモートコントロールすることができます。そのためには、リモコン用のソフトを iPhone / iPod にインストールする必要があります。SFORZATO は Linn 社の無料アプリ Kinsky を推奨いたします。その他、OpenHome 規格、DLNA 規格のコントロールソフトであれば、いろいろなソフトで操作可能です。

5. 操作方法

1) iPhone / iPad で Linn Kinsky を使う場合

- ① 画面右上の Room で DSP-Dorado を選びます。
- ② 左側の home – Library から再生したい曲が入っている NAS を選びます。
- ③ NAS の中から聞きたい曲を選びます。このとき画面左下の表示が Play Now になっている場合は即再生、Play Next, Play Later のときは右側のプレーリスト表示部分に曲名が追加されます。再生するには三角の再生ボタンを押してください。
- ④ 曲再生中でも次に聴きたい曲をプレーリストに追加できます。左下表示が Play Now だと再生中に選曲すると今の曲を中断して即再生します。Play Next だと今再生中の曲の次に今選んだ曲が再生されます。Play Later だとプレーリストの最後に追加されます。

2) Roon を使う場合

コンフィギュレーション設定（後述）設定により Roon を使って操作することも可能です。使い方については別途 Roon のマニュアル等をご参照ください。

3) Diretta (LAN DAC モード)で使う場合

Windows PC とつないで LAN 経由で PC の音楽再生アプリを使って再生できます。

- ① SFORZATO 社の web page の download ページから Diretta 用ドライバーソフトをダウンロードし、インストールしてください。現在 Mac 用のドライバは用意がありません。Win 専用です。
- ② フロントボタン操作（後述）または LAN を通じたコンフィギュレーション（後述）によって、Diretta モードに切り替えてください。
- ③ PC の音楽再生ソフトで出力先を SFORZATO Diretta に設定してください。再生すると DSP-Dorado から再生されます。

4) USB を使う場合

オプションで USB を追加すると LAN 経由でなく USB を使って操作できます。PC と

接続して、You Tube、その他ストリーミングサービスなど、ネットワークプレーヤーの機能では聞くことのできない音源を再生できます。

- ① SFORZATO 社の web page の download のページから PC 用のドライバをダウンロードしてください。Mac の場合はドライバーは不要です。
- ② ドライバーを PC にインストールしてください。
- ③ PC と DSP-Dorado を USB ケーブルで接続してください。
- ④ フロントボタン操作 (後述) または LAN を通したコンフィギュレーション (後述) によって、USB 動作モードに切り替えてください。
- ⑤ PC の音楽再生ソフトで出力先を SFORZATO USB AUDIO を選択してください。音楽再生することで DSP-Dorado から音がでるようになります。

6. クロックについて

DSP-Dorado は内部にクロック発振器を持ちません。必ず外部 10MHz クロックの接続が必要です。添付クロックユニットは位相ノイズの小さい高性能な TCXO で十分な高音質を得られますが、PMC-03, PMC-Pyxix などを使用することでより高音質な再生が可能になります。他社製品であっても 10MHz 出力のクロックジェネレータであればほとんどのものが使用可能です。

- ① 外部マスタークロックジェネレータの 10MHz 出力と DSP-Dorado の背面の BNC 端子をインピーダンス 50 オームの BNC ケーブルで結びます。インピーダンスは 50 オームでなくても動作しますが、なるべく合わせたほうが良い結果になる場合が多いです。
- ② クロックの電源を ON にしてから、DSP-Dorado の電源を入れてください。もしクロックが正しく入っていない場合、External Error の表示が本体のディスプレイに出ます。その場合は、マスタークロックとの接続、マスタークロックの電源、マスタークロックの出力周波数などをご確認ください。

7. フロント・スイッチについて

DSP-Dorado 本体のフロントには、Display と Phase の 2 つのボタンがあります。それぞれの機能は以下のとおりです。

Display ボタン

演奏中の音楽の情報表示を切り替えます。

ボタンを押すたびに、トラックタイトル — アルバム名 — 演奏者名 — サンプリング周波数とビット数情報 — 表示 OFF の順に変わります。

ボタンを長押しすると、モードの切り替えができます。UPnP (Kinsky、MconnectHD 等を

使って操作するモード) -> **room** (**room** を使って操作するモード) -> **Diretta** (**LAN DAC** として動作するモード) -> **USB** (オプション装着時、**USB** で操作するモード) -> **UPnP** と順に切り替わります。

なお、停止状態がしばらく続くと、表示が自動的にオフになり、省電力モードとなります。ただし、このときも表示は消えていますが、他の部分には電源が入っており、コントローラからの指示を受け付けます。長くお使いにならない場合は電源のスイッチをオフにしてください。

Phase ボタン

位相反転（出力の極性の切り替え）ボタンです。

XLR バランス出力は、通常は **2 番 hot**、**3 番 cold** になっています。**Phase** ボタンを押すと、本体ディスプレイに **INV** の表示が出て、**3 番 hot**、**2 番 cold** に切り替わります。また、**RCA** 出力の位相も反転します。

接続する機器に合わせて選択してください。また曲によっては位相を反転したほうが自然に聞こえる場合があります。お好みで設定を変えてご使用ください。

Display ボタンと **Phase** ボタンの同時押し

両方のボタンを同時にしばらく押し続けることで、設定モードに入ります。

同時押しは曲の再生中には行わないでください。

設定モードに入ると、以下の表示に変わります。

IP address **DSP-Dorado** に設定された **IP** アドレスが表示されます。

display ボタンを押すと

Revision **DSP-Dorado** の現在のソフトのバージョンが表示されます。

display ボタンを押すと

Interface 切り替え

現在 **Ethernet** モードのときは **Interface to USB** と表示されます。**Phase** ボタンを押すと再起動して **USB** モードに切り替わります。現在 **USB** モードのときは **Interface to LAN** と表示され、**Phase** ボタンで **Ethernet** モードに切り替わります。

display ボタンを押すと

Live Update

phase ボタンを押すと、**DSP-Dorado** が自動的に **SFORZATO** サイトにアクセスしソフトを探して、新しいバージョンがあればアップデートします。

display ボタンを押すと

Status: クロック入力の周波数を表示します

display ボタンを押すと

MAC アドレス表示、

DSP-Dorado に割り振られた MAC アドレスが表示されます。

Factory Reset

phase ボタンを押すと出荷時の状態にもどります。

disp ボタンを押すと

Reboot

phase ボタンで再起動になります。

display ボタンを押すとまた IP アドレス表示に戻ります。

設定モードを抜けるには、Reboot まで進んで phase ボタンを押して再起動する必要があります。

8. コンフィギュレーションについて

iPhone、iPod などの場合

無料ソフト SFORZATO Connect を APP ストアからダウンロードしてください。iPad でも動作しますが、SFORZATO Connect は iPhone アプリです。APP ストアで iPhone アプリとして検索してください。iPhone , iPod などを DSP-Dorado と同じネットワークに接続して SFORZATO Connect を起動すると設定画面が開きます。

また、PC と接続して DSP-Dorado の動作をカスタマイズすることが可能です。

SFORZATO web page の download ページから、SFORZATO config を PC にダウンロードしてください。DSP-Dorado と同じネットワーク上の PC で実行すると、自動的にブラウザが立ち上がり、コンフィギュレーション画面が開きます。

また、直接 DSP-Dorado の IP アドレスをブラウザに入力することで、コンフィギュレーション画面を開くこともできます。前章ボタンの説明のところ、2つのボタンの同時押しについて説明したとおり、設定モードに入ることによって本体の IP アドレスを知ることができます。

<http://xxx.xxx.x.x/> x の部分に DSP-Dorado 本体から読み取った数字を入力してください。

Player:

UPnP (DLNA or OpenHome) 、roon、USB (オプション装着時)、Diretta から選択できます。UPnP は Kinsky, MConnectHD など操作する場合に選択してください。Roon を使う場合は roon を選択してください。PC と USB ケーブルでつないで操作するときは USB

を選択してください。(USBはUSBオプションを装着している場合のみ表示されます) PCとLANケーブルでつないで操作するときは **Diretta** を選択してください。

Polarity:

出力の位相を反転させることができます。

Controller:

MconnectHD など DLNA/UPnP コントローラソフトウェアを使って操作するか、Kinsky など OpenHome コントローラを使って操作するか、もしくは両方を使ってコントロールするかが選択できます。コントローラに MConnectHD など DLNA アプリのみをお使いであれば DLNA を、Kinsky のみをお使いになるのであれば、OpenHome を選択することをお勧めします。

set ボタン

上記 3 項目の設定を実行するためのボタンです。

Name:

コントローラソフトの画面に表示される DSP-Dorado の名前が変更できます。お好みの名前を入力してください。

PCM Upsample:

Upsample を on にすると 44.1kHz/88.2kHz の PCM は 176.4kHz に、48kHz/96kHz は 192kHz にアップサンプルされてから D/A 変換されます。アップサンプルには 64bit 倍精度浮動小数演算によるプレエコーのない最小位相フィルタが使われます。

PCM Oversample

通常は on に設定されています。これを off にすると DA 変換時の Oversample がおこわれないため、補間デジタルフィルタを通りません。そのためデジタルフィルタによるエコーの発生がありません。

Volume:

Volume を enable すると Kinsky、Roon などから音量を変更できます。

Enable50 は電源オン時ボリュームレベルが半分(50/100)に設定されます。

Enable25 は電源オン時 1/4 に、enable0 はボリューム 0 に設定されます。

電源オンの直後の音楽再生で、いきなり大きな音がでないようにするため、ご使用の環境に合わせて設定してください。

Default Polarity:

出力の位相を反転することができます。

Default display:

起動時にフロント表示をどうするかが設定できます。出荷時はタイトル表示になっています。オフを設定することも可能です。

Display Brightness:

ディスプレイ表示の明るさを調整できます。

Factory Reset:

出荷時の状態に戻すには、マークにチェックしてください。

set ボタン:

上記 8 項目の設定を実行するためのボタンです。

Beta Function:

開発中の新機能を別ページで表示します。

Music Toss:

Apple AirPlay と同様の機能です。Mac, iPhone, iPad 等の音を DSP-Dorado で鳴らすことができます。開発中の機能で、動作が不安定な場合があります。

UPDATE

現在のソフトのバージョンが表示されます。

Live:**start liveupdate ボタン :**

自動的に SFORZATO のサーバに接続して、最新のファームウェアにアップデートします。

File:

以前のファームウェアに戻したい場合や、liveupdate がうまく動作しない場合に、手動でファームウェアを書き換えるための機能です。

あらかじめ PC に書き換えたいファームウェアをダウンロードしておき、

参照ボタンで、そのファームウェアを選択、
Write file ボタンを押すことで、ファームウェアを書き換えます。

9. ソフトアップデートの方法について

ボタンの説明の章で述べたとおり、フロントパネルの2つのボタンを同時押しすることで設定モードに入ります。display ボタンを押して画面を進め、Live Update 画面を表示し、phase ボタンを押すことで自動的にソフトがアップデートされます。

ユーザー登録頂いたお客様には、新バージョンのリリース時にメールでお知らせいたします。

10. ユーザー登録について

お客様には、ソフトウェアアップデート情報などをお知らせするため、ユーザー登録をお願いしています。

ユーザー登録いただいたお客様には、保証期間延長コードをお送りいたします。保証書にこのコードをご記載いただきますと、通常1年間の保証期間が2年間に延長されます。

登録は：info@sfz.co.jp へてに
タイトルを 「DSP-Dorado ユーザー登録」として

DSP-Dorado のシリアル番号（本体と電源の裏にあります）

お名前：

メールアドレス：

郵便番号、ご住所：

ご年齢：

性別：

ご購入になった日付：

お買い上げ店名：

ご使用の NAS:

ご使用の外部クロック：

以上の情報をお送りください。

マニュアルはソフトウェアの本体アップデートに合わせて、順次更新されます。
弊社 Web site のマニュアルダウンロードのページをチェックして、適宜お使いください。

※ 本製品の DLNA ライブラリには、株式会社アルファシステムズの
alpha Media Link SDK を使用しています。

11. 更新履歴

5/31/17	初版
10/06/17	Display ボタンによるモード変更を追加。 firmware アップデートに合わせ、コンフィグ画面表示変更。
7/5/18	fimware アップデートに合わせ、操作方法、コンフィグ画面を変更。